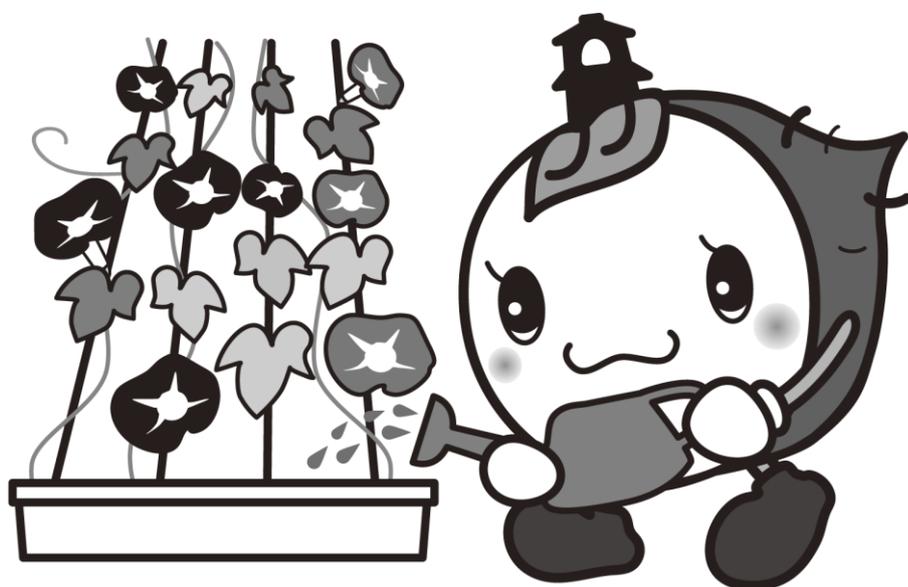


川越市（7月）定例記者会見



日時 令和4年7月19日（火）

14時00分～

場所 川越市役所 迎賓室

川越市（7月）定例記者会見次第

令和4年7月19日（火）

14時00分開会 迎賓室

1 開 会

2 説 明

○川越市市制施行100周年記念 第30回小江戸川越花火大会

（観光課）

○「市制施行100周年・開館20周年記念特別展

コレクション大公開 相原求一朗展 アンコール」について

（美術館）

3 質疑応答

4 その他

5 閉 会

川越市市制施行100周年記念 第30回小江戸川越花火大会

- 主 催 小江戸川越観光推進協議会（事務局：川越市役所観光課内）
※後援：川越市、川越商工会議所、（公社）小江戸川越観光協会

- 開 催 日 令和4年8月20日（土）〔実施可否決定：当日正午〕
19：00～19：15 主催者あいさつ
19：15～20：45 花火打ち上げ
※荒天等の場合、翌日21日（日）に順延。21日も荒天等の場合は中止。
※新型コロナウイルス感染拡大状況等により、開催内容に変更が生じる場合があります。

- 観覧場所 川越市安比奈親水公園

- 打上場所 川越市増形地内（花火大会当日、周辺は立入禁止）

- 打上総数 約10,000発（最大4号玉）
※スターマイン、メッセージ花火、音楽花火など

- 観覧客数 10,000人（事前購入チケット制）
※協賛者等の招待者を含まず
参 考（川越市安比奈親水公園会場外の周辺観覧客も含む）
約9.8万人（H30年度安比奈親水公園）
約8.0万人（H28年度安比奈親水公園）

- 交通機関 (1) JR川越線笠幡駅より徒歩 25分
(2) 西武新宿線南大塚駅より徒歩 50分
(3) 東武東上線霞ヶ関駅より徒歩 50分

- 交通規制 会場周辺道路で交通規制を実施
(1) 県道鯨井・狭山線ほか 20:30～22:30
(2) 安比奈親水公園入口周辺 17:00～22:30
(3) 打上場所周辺通行止め 6:00～22:00
(4) 交差点から会場方向に車両通行止め 20:30～22:30
(的場からの的場上まで)
(霞ヶ関小東からの的場上まで)
(かすみ野入口南から安比奈親水公園入口まで)

■感染対策 花火大会の開催に際し、次の感染防止対策を実施。

1 開催方法の変更

- (1)会場内での密を抑制するため、来場者を1万人までとする事前購入チケット制とする。
- (2)無料駐車場、出店（露店）、余興を取り止める。

2 感染拡大防止策の内容

- (1)会場入り口での体温チェック、手指消毒の実施
- (2)状況に応じたマスクの着用
- (3)接触確認アプリ「COCOA」の利用
- (4)「埼玉県LINEコロナお知らせシステム」の利用
- (5)会場内での飲酒、喫煙の禁止
- (6)会場内での大声の禁止
- (7)会場内への消毒アルコールスタンドの設置
- (8)体調不良者の隔離テントの設置
- (9)退場時の分散退場
- (10)会場内の観覧場所を4つのエリアに設定（別紙参照）

3 事前予約の方法

(1)事前購入チケット制（有料）の導入

- ①市民チケット（100円/人 販売数8,000枚）
- ②市外チケット（1,000円/人 販売数2,000枚）
- ③的場緑地駐車券（1,000円/台 販売数600枚）

※事前チケット購入時に会場内の4つの観覧エリアのうち、1つの観覧エリアを選択

(2)販売方法

①店頭販売

埼玉県内のファミリーマート（マルチコピー機）で購入

②インターネット販売

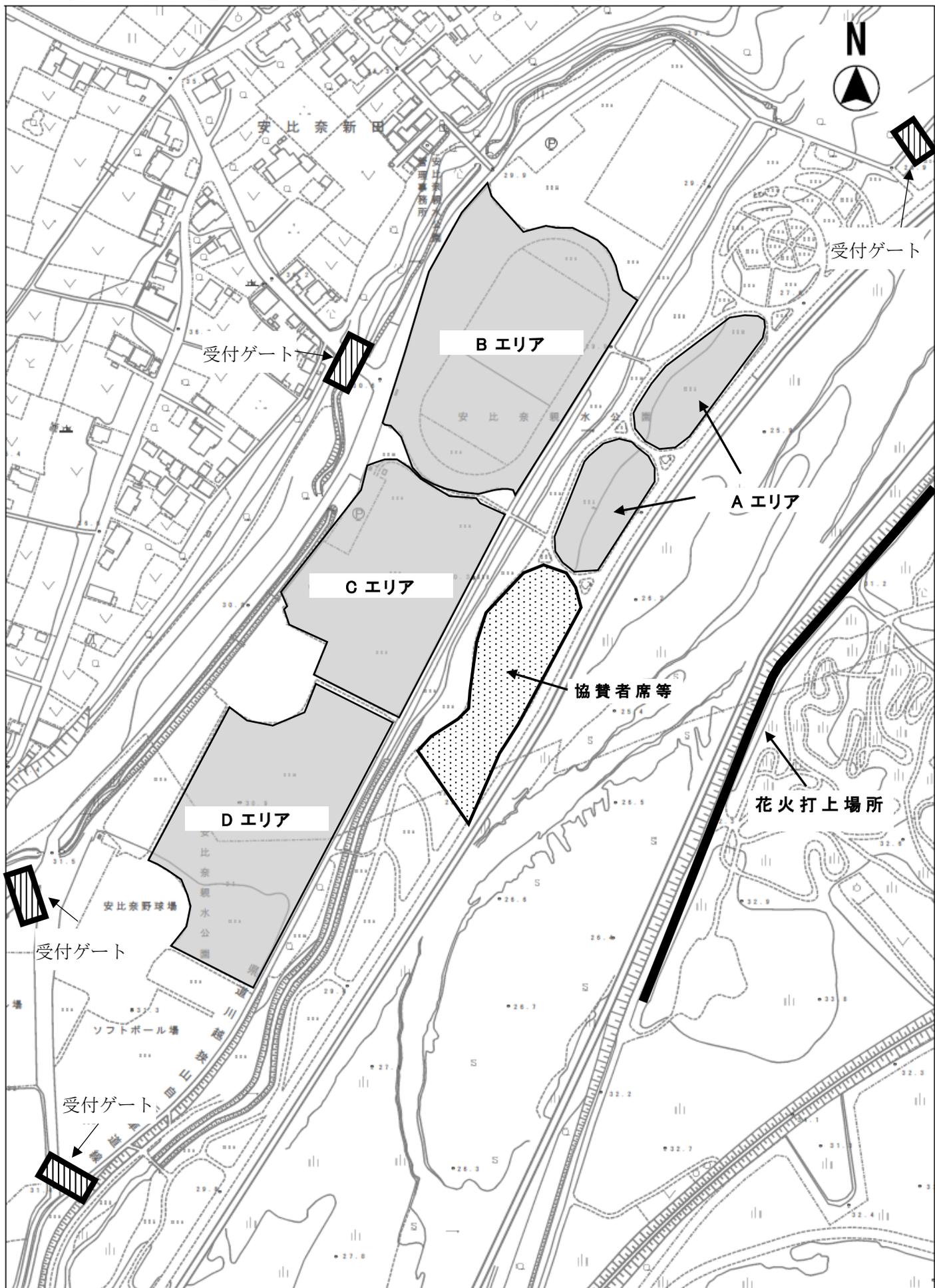
CNプレイガイドWEBサイトで購入後、埼玉県内のファミリーマート（マルチコピー機）で発券

③販売開始 令和4年8月3日（水）正午から（先着順）

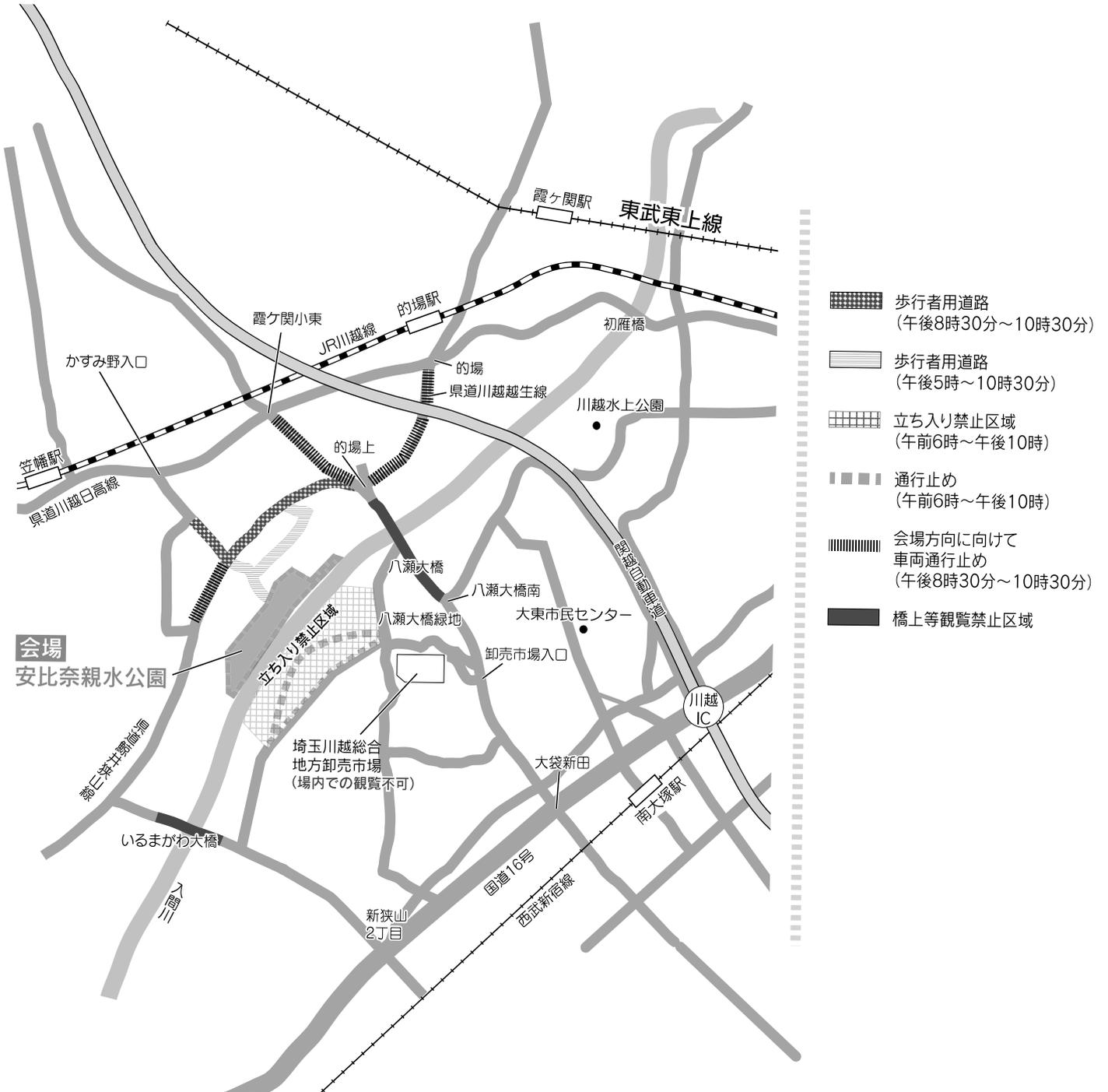
産業観光部観光課観光推進担当

直通電話番号：049-224-5940

第 30 回小江戸川越花火大会（安比奈親水公園）会場図（案）



■ 交通規制地図



「市制施行 100 周年・開館 20 周年記念特別展

コレクション大公開 相原求一朗展 アンコール」について

■内容

川越市名誉市民で洋画家の相原求一朗（1918-99）の展覧会を開催します。2018 年から 2019 年にかけて、北海道をテーマに抒情的な風景画を描き続けた氏の生誕 100 年・歿後 20 年を記念した回顧展が、川越・札幌・軽井沢を巡回しました。この回顧展は大反響を呼び、アンコールの声をたびたびいただきました。そこでこのたびは新たにコレクションに加わったスケッチやデッサンの公開を兼ね、当館の所蔵作品で相原の画業をたどります。

川越の卸問屋業を営む家の長男として家業を継いだ相原は、美術学校への進学は叶いませんでしたが、1948（昭和 23）年にモダニズムの画家・猪熊弦一郎に師事したことをきっかけに、画家としての道を歩み始めました。川越に拠点を置きながら、相原は毎年のように北海道を訪れ、心を揺さぶる風景を探し求めました。それは、戦時中の 4 年半を過ごした広大で寂寥とした満州の記憶を、北の大地に重ね合わせる行為でもありました。モノクロームの色調で描き留められた風景画は、理想化された相原の原風景と言ってよいでしょう。

本展では、「北の大地」「北の異郷」「神の風景」という 3 つの切り口から相原作品約 50 点を紹介し、その魅力に迫るとともに、相原の創作意欲をかき立てた原風景のエッセンスを探ります。当館の相原作品をこれほど一挙に公開する展覧会は開館以来初となります。

本展は令和 2 年度に計画された展覧会ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館したため全く公開できませんでした。今回は再度機会を得て市制施行 100 周年および開館 20 周年を記念する展覧会として実施するものです。

■ 会 期 2022 年 7 月 16 日（土）～9 月 4 日（日）

■ 会 場 川越市立美術館 企画展示室

■ 開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入場は午後 4 時 30 分まで）

■ 休 館 日 月曜日（7 月 18 日は開館）、7 月 19 日（火）

■ 観 覧 料 一般 500 円（400 円） 大高生 250 円（200 円）
中学生以下無料

*（ ）内は 20 名以上の団体料金

* 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をご持参の方、及びその介護者 1 名は無料

* 「川越きもの日」にちなみ、8 日、18 日、28 日に浴衣・着物で来館

された方は観覧料を二割引き致します（一般 400 円、大高生 200 円）

- 主 催 川越市立美術館
- 助 成 一般財団法人自治総合センター
- 後 援 朝日新聞さいたま総局、埼玉新聞社、産経新聞さいたま総局、時事通信社川越支局、東京新聞さいたま支局、日本経済新聞社さいたま支局、毎日新聞埼玉西支局、読売新聞さいたま支局、NHK さいたま放送局、J:COM 東上・川越、テレ玉、FM NACK5

【関連事業】

- 1 講演会 「私の相原求一郎」
話し手 新井博氏（元相原求一郎生誕 100 年記念プロジェクト実行委員長）
日 時 8 月 2 8 日（日）①午前 1 1 時～正午、②午後 2 時～3 時
場 所 アートホール
定 員 各 2 5 人（先着）
申 込 8 月 2 日（火）午前 9 時から電話・ファクスで美術館まで
- 2 実技講座「風景を描くー相原求一郎の声をききながらー」
日 時 8 月 2 0 日（土） 午前 1 0 時～午後 4 時
講 師 かばやまさちかず 榊山祐和氏（新制作協会会員・武蔵野美術大学教授）
場 所 創作室
定 員 成人 1 2 人（抽選・初心者優先）
費 用 3, 0 0 0 円（材料費）＋観覧料
申 込 7 月 1 7 日（日）～7 月 3 1 日（日）の間に電話・ファクスで美術館まで
- 3 担当学芸員によるスライドトーク
日 時 8 月 6 日（土） 午後 2 時～
8 月 1 1 日（木・祝） 午前 1 1 時～
8 月 2 1 日（日） 午後 2 時～ * 手話通訳付
場 所 アートホール
申 込 不要
定 員 各 2 5 人（先着）

文化スポーツ部美術館

直通電話番号：049-228-8080